

2023年1月・2月開催オンライン講演のお知らせ

主催：認定 NPO 法人江戸城天守を再建する会

講演会 1：大坂城の歴史～本願寺から大坂城へ

「大坂城」というと誰しもがまず豊臣秀吉の名前を思い浮かべます。

けれども秀吉の築城以前から既に「大坂城」は存在し、大坂城の歴史を遡ると、明応5年(1496)の浄土真宗本願寺派8世蓮如上人による「大坂御坊」の建立にたどりつきます。大坂御坊は10世証如上人の代には本願寺派の本山「大坂(石山)本願寺」となり、一向一揆の総司令部として機能し、10年の長きにわたり織田信長と戦闘を繰り広げました。

この戦争は、正親町天皇の勅命により終結しますが、本願寺の跡地を手に入れた信長はここを「大坂城」とし、天正10年(1582)6月2日に本能寺の変で信長が非業の死を遂げたあとは、清須会議の結果、「大坂城」は池田恒興の領有するところとなります。

天正11年(1583)4月の賤ヶ岳合戦に勝利した秀吉は池田恒興に大坂城の明け渡しを要求し、同年9月1日から築城工事が始まり、大坂城は秀吉の天下統一の拠点となります。

今回の講演では、秀吉による築城以前の大坂城の「前史」と秀吉の築城工事の実態、また秀吉築城の大坂城および城下町大坂の具体的様相を紹介します。

<https://www.kokuchpro.com/event/230122/>

日時：令和5年1月22日(日)(申込締切 1月18日(水))

14:00~15:40(途中10分間休憩含む)

講師：北川 央

前大阪城天守閣館長、
九度山真田ミュージアム名誉館長



講師近影



講演会 2：石垣の堅城「盛岡城」の城構えは意外にもコンパクト

盛岡藩南部家20万石の居城として知られる盛岡城は、文禄元年(1592)に築城工事が始まり、慶長2年(1597)年3月から石垣普請が始まるなど、豊臣政権主導のもとで城普請が行われたと考えられています。連郭式縄張を基調とする城構えは「織豊系城郭」の特徴を備え、本丸・二ノ丸・三ノ丸の塁壁は総石垣とされるなど、北東北地方では随一の規模の石垣が築かれました。

石垣普請に関しては浅野長吉(後に長政)、蒲生氏郷の支援・協力があつたと考えられます。しかし城郭の主体部が完成をみるのは江戸時代に入ってからであり、南部氏が豊臣政権の期待に応えられたかどうか疑問が残ります。

それはさておき盛岡城は石垣造りの堅城として、その遺構は今も整然と残っています。本講演では、コンパクトな城構えながら高石垣を有すること、多様な技法で築かれた石垣の見どころ、全国最小クラスの三重天守の話など、十分に知られていない盛岡城の面白さを伝えます。

<https://www.kokuchpro.com/event/230219/>

日時：令和5年2月19日(日)(申込締切 2月15日(水))

14:00~15:40(途中10分間休憩含む)

講師：神山 仁

盛岡城跡歴史的建造物復元調査アドバイザー
(盛岡市長委嘱)



講師近影 ©坂井良隆



・参加費：無料

- ・申込方法：QRコードから「こくちーず」で申込み、もしくは以下の申込先まで。
- ・視聴方法：**ZOOMを使ったオンライン講演** お申込者へ前日までにメールで参加情報を送ります。
- ・問合せ先：下記事務局、なお金土日は事務局閉局のため直前の問合せは近藤までお願いします。
- ・申込先：江戸城天守を再建する会 事務局(月~木 10:30~16:30)
Mail: info@npo-edojo.org FAX:03-6423-1897 ☎03-6423-1882
- ・御城印購入の場合の振込先：三井住友銀行光が丘支店(普) 0851894 ゆうちょ銀行 00120-9-578881
- ・進行役：近藤(理事) kondo1007@gmail.com ・リモートホスト：黒木(理事) hidekuro@nifty.com